

「コンフリクトと価値」移民ワークショップのご案内

大阪大学グローバル COE「コンフリクトの人文科学」に属するリサーチフォーカス「コンフリクトと価値」では、文学研究科・臨床哲学研究室と協力して、下記の要領で移民問題に関するワークショップを開催いたしますので、広くご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

日時：平成 21 年 11 月 20 日（金）18:30～20:15

場所：大阪大学豊中キャンパス・文 1 3 教室（文法経講義棟 1 階）

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka.html>

（番号 7 の建物の下（南）にあたる建物です）

題目：「現在のヨーロッパにおける移民問題」（英語、通訳付）

講師：Marcin Galent（ポーランド・クラクフ大学・ヨーロッパ研究所助手）

ガレント氏はエラスムス・ムンドゥス（EM）プログラムのクラクフ大学コーディネーターとして大阪大学文学部に滞在中の社会学者。EU における移民問題について博士論文を執筆し、とりわけイギリス社会の移民への態度や、ベルギーにおけるポーランド人移住労働者が引き起こした変化について研究。

主催：大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文科学国際研究教育拠点」

「コンフリクトと価値」RF 代表：小林傳司

（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授）

連絡先：大阪大学文学研究科 中岡成文（06-6850-5662）

共催：大阪大学大学院文学研究科・臨床哲学研究室